

上位陣ががっちり白星！

～第33回日本ハンドボールリーグ第11週～

第33回日本ハンドボールリーグ第11週は11月23日に福井などで男子5試合が行われ、大同特殊鋼、大崎電気らの上位陣が確実に白星を奪った。

前週、トヨタ紡織九州に連勝を止められた大同は、北陸電力を相手に2点を先制されたが、中盤に入り相手のミスを末松、武田らの速攻へつなげて6連取すると、そのまま主導権を握って前半を11-7で終了。後半も立ち上がりから千々波のポスト、末松の速攻などで6連取した大同が快調に飛ばし、神田のミドル、落合などで反撃する北電を寄せ付けず、大量リードを守ったまま29-15と勝利した。

高知での紡織-琉球コラソン戦は、開始早々スカイプレーで先制した琉球がGK内田のファインセーブもあり14分9-5と優勢に試合を進めた。しかし、紡織は15分過ぎに村山の退場を機に点差を縮め、前半終盤に村上秀、村上直の連打で13-12と逆転して前半をターン。後半に入り、地力で勝る紡織は呉のゲームメイクから連続得点を重ねると、GK谷川も琉球のシュートをことごとくシャットアウト、スピード勝負を38-26で制して上位争いに踏みとどまった。

続く湧永製薬-豊田合成戦は、立ち上がり合戦が3連取するが、湧永は慌てず福田らの活躍で10分6-6と同点に追いつくと、その後は東長濱らで4連取して合成を突き放しにかかった。合成も地元出身のGK藤堂のファインセーブで食い下がったものの、湧永が17-13と4点リードで前半終了。後半に入ると湧永・新合成・大橋の両サイドプレーヤーが要所で加点し一進一退の攻防が続いたが、17分過ぎから東長濱のロングシュートを皮切りに2度の3連打などでペースを上げた湧永が一気に勝負を決めた。

大分での大崎電気-トヨタ自動車戦は、大崎が堅い守りからの速攻やポスト、サイドを効果的に使ったセットプレーで着実に加点。自動車も山口のステップシュートや光増のロングシュートなどで起死回生を図るが、大崎のクイックスターでの得点やGK浦和の好守などで、なかなかペースをつかめずに苦戦。22-14と8点リードで折り返した大崎は、後半も攻撃の手をゆるめず速攻を主体に次々と加点して危なげなく勝利を飾った。

トヨタ車体-Honda戦は、門山の連打で好スタートを切った車体に対し、Hondaも竹田のミドルなどで応戦、11分7-5と先行した。しかし、15分過ぎから退場が相次いだHondaのスキについて加点した車体が14-13と逆転して前半を終了。後半も一進一退が続いたが、5分18-16の場面からHonda・鶴見が退場したパワープレーチャンスに車体は鶴谷の2連取で抜け出し、その後も崎前、高智らで加点、GK田平の好セーブもあってHondaの追撃を振り切った。

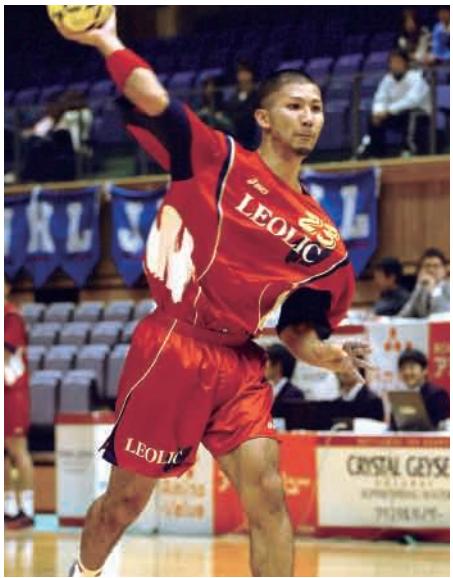
次週も男子のみ5試合が行われ、愛知での車体-湧永戦をはじめ、ブレーオフ争いにしのぎを削る上位陣の戦いぶりに注目が集まる。沖縄での琉球-Honda戦も好勝負となりそうだ。



①大崎電気・中川が中央突破してシュート
②トヨタ車体・門山の力強いロングシュート

第12週の日程

11月29日(土)	埼玉	和光市総合体育館（東武東上線和光市駅徒歩15分）	14:00～	(男)	大崎電気 × 北陸電力
	山梨	甲州市塩山体育館（JR中央本線塩山駅車15分）	14:00～	(男)	大同特殊鋼 × トヨタ自動車
	愛知	知立市福祉体育館（名鉄名古屋本線知立駅徒歩10分）	14:00～	(男)	トヨタ車体 × 湧永製薬
		稲沢市総合体育館（名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」徒歩8分）	14:00～	(男)	豊田合成 × トヨタ紡織九州
	沖縄	沖縄県立武道館（那覇空港バス「奥武山運動公園」徒歩5分）	15:30～	(男)	琉球コラソン × Honda



湧永製薬・東長濱

<p>◆ 11月23日(日) 男子 高知・高知県民体育館</p> <p>湧永製薬 36 (17-13) 26 豊田合成 9勝1分2敗</p> <p><0/1> K 志水 4/8 坂本 0/0 濱本 0/0 山中 4/10 黒木 5/9 福田 1/4 吉田 2/4 佐藤 2/6 東新 8/12 渡久山 3/3 武藤 0/0 古家 2/2 山口 5/11 東長濱</p>		<p>◆ 11月23日(日) 男子 大分・別府市総合体育館 (べっぷアリーナ)</p> <p>大崎電気 45 (22-14) 26 自動車 9勝1分2敗</p> <p>K 浦和 6/8 小澤 1/4 前田 2/2 中川 4/4 永島 3/5 太田 1/2 酒井 2/2 6/9 岩永 2/3 東俊介 1/2 秋山 4/6 内田 5/6 猪妻 8/14 宮崎</p> <p>K 原 0/0 後藤 0/1 黒木 0/0 大橋 4/8 桶谷 0/1 加藤 1/2 植谷 3/6 新渡久山 5/9 今村 4/12 中村 3/5 芳仲 1/3 堂 K 畠中 3/9</p> <p>K 松原 0/0 伸藤 1/3 堂 K 畠中 3/9</p>		<p>◆ 11月23日(日) 男子 トヨタ紡織 38 (13-12) 26 琉球 8勝1分3敗</p> <p>高橋 1/3 神田 2/7 落合 5/7 地引 2/5 1/2 武田 1/1 岸川 0/0 大田 3/3 高木 0/0 李才佑 0/0 千々波 0/4 山城 0/1 東丸 0/0 松永 0/1 渡久川 有江 K</p> <p>松野 4/9 中島 1/2 西端 3/4 村上直 3/4 村上秀 4/10 吳相民 0/0 鈴木 0/0 海道 4/6 阪田 4/6 谷川 1/2 藤本 2/2 鈴木 2/2 1/3 藤山原 3/3 泉</p> <p>久村 0/0 山岡 3/6 積 0/0 池田 0/0 志慶真 2/3 内田 K <0/2> 水野矢 0/0 内山 2/3 田場 0/1 高田 7/19 石田 K 水野紀 3/6</p>	
<p>1/1 28/39 3(FPP)5 審判(福田・富田)</p>		<p>14/32 1/2 観客 430人</p>		<p>2/2 36/56 6(FPP)4 審判(野島・石原)</p>	
<p>2/2 36/69 5(FPP)4 審判(永春・安田)</p>		<p>24/56 2/2 観客 570人</p>		<p>23/50 3/4 観客 515人</p>	



大崎電気

「OB・OGに感謝！」

大崎電気のホームゲームは、チームのOB・OGを中心となって構成された実行委員が運営しています。

毎試合、コート設営から後片付けまですべての業務を分担して担当しています。

そのなかでも、今シーズン最も充実していて、注目の存在が応援団！

高校生やファンのみなさんの心強い声援に、今シーズンから応援団長としてOBの森本彰宏さんと佐藤良彦さんが加わり、さらにパワーアップしています。

昨シーズン限りで現役を引退したばかりとあって、まだまだエネルギー充分の2人。

森本さんのインパクトあふれるパフォーマンス、大崎ディフェンスを身体を張ってリードしていた佐藤さんの

統率力で今年の応援団はひと味違います！

この心強い応援のおかげで選手たちもベストパフォーマンスを披露し続けています。

みなさんも、ぜひ大崎電気の試合会場で生の応援を体感してください！

そして、応援だけでなく、いろいろなイベントも実施していますので、お誘い合わせの上、試合会場に足をお運びください。



心強い応援団長②森本さん④佐藤さん

男女個人賞レース 第11週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 末 松 誠 (大同特殊鋼)	89 点	(12試合)	1 上 町 史織 (北國銀行)	79 点	(9試合)
2 村 山 裕次 (琉球コラソン)	88 点	(12試合)	2 郭 恵 静 (ソニー)	70 点	(9試合)
3 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	83 点	(12試合)	3 樋 口 真 央 (ソニー)	55 点	(9試合)
4 柳 本 義 文 (Honda)	75 点	(12試合)	4 佐 久 川 ひとみ (オムロン)	48 点	(9試合)
4 中 嶋 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	75 点	(12試合)	5 洪 廷 昊 (オムロン)	46 点	(9試合)
6 竹 田 寛 明 (Honda)	73 点	(12試合)	6 東 濱 裕 子 (オムロン)	44 点	(9試合)
7 東 長 濱 秀 作 (湧永製薬)	70 点	(12試合)	7 佐 藤 由 紀 恵 (H C 名古屋)	42 点	(9試合)
8 門 山 哲 也 (トヨタ車体)	62 点	(12試合)	8 横 嶋 か お る (北國銀行)	40 点	(9試合)
9 内 田 雄 士 (大崎電気)	61 点	(12試合)	9 高 栖 由 香 (ソニー)	36 点	(9試合)
10 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	60 点	(12試合)	9 菅 野 喜 恵 (メイプルレッズ)	36 点	(9試合)
10 新 建 二 (湧永製薬)	60 点	(12試合)	9 季 キ ョ ン ミ ノ (メイプルレッズ)	36 点	(9試合)
12 高 田 匠 (琉球コラソン)	58 点	(11試合)	12 城 内 真 紀 (オムロン)	35 点	(9試合)
12 光 増 由 矢 (トヨタ自動車)	58 点	(12試合)	12 植 垣 曜 恵 (メイプルレッズ)	35 点	(9試合)
14 鶴 見 拓 (Honda)	56 点	(12試合)	12 伊 藤 亜 衣 美 (バイオレットアイリス)	35 点	(9試合)
15 中 村 晃 己 (豊田合成)	55 点	(12試合)	15 伏 見 麻 美 子 (バイオレットアイリス)	34 点	(9試合)

フィールド得点賞

1 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	83 点	(12試合)	1 郭 恵 静 (ソニー)	68 点	(9試合)
2 末 松 誠 (大同特殊鋼)	75 点	(12試合)	2 佐 久 川 ひとみ (オムロン)	46 点	(9試合)
2 中 嶋 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	75 点	(12試合)	3 洪 廷 昊 (オムロン)	45 点	(9試合)
4 竹 田 寛 明 (Honda)	65 点	(12試合)	3 上 町 史織 (北國銀行)	45 点	(9試合)
5 村 山 裕 次 (琉球コラソン)	63 点	(12試合)	5 東 濱 裕 子 (オムロン)	44 点	(9試合)
6 門 山 哲 也 (トヨタ車体)	62 点	(12試合)	6 横 嶋 か お る (北國銀行)	40 点	(9試合)
7 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	60 点	(12試合)	7 高 栖 由 香 (ソニー)	36 点	(9試合)
7 新 建 二 (湧永製薬)	60 点	(12試合)	7 菅 野 喜 恵 (メイプルレッズ)	36 点	(9試合)
9 柳 本 義 文 (Honda)	58 点	(12試合)	9 城 内 真 紀 (オムロン)	35 点	(9試合)
9 高 田 匠 (琉球コラソン)	58 点	(11試合)	9 伊 藤 亜 衣 美 (バイオレットアイリス)	35 点	(9試合)
9 光 増 由 矢 (トヨタ自動車)	58 点	(12試合)			

シート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 末 松 誠 (大同特殊鋼)	75点 / 115射	0.652	1 横 嶋 か お る (北國銀行)	40点 / 54射	0.741
2 柳 本 義 文 (Honda)	58点 / 94射	0.617	2 佐 久 川 ひとみ (オムロン)	46点 / 64射	0.719
3 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	60点 / 99射	0.606	3 城 内 真 紀 (オムロン)	35点 / 51射	0.686
3 新 建 二 (湧永製薬)	60点 / 99射	0.606	4 高 栖 由 香 (ソニー)	36点 / 55射	0.655
5 中 嶋 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	75点 / 125射	0.600	5 洪 廷 昊 (オムロン)	45点 / 78射	0.577

7mスロー得点賞

1 村 山 裕 次 (琉球コラソン)	25 点	(12試合)	1 上 町 史織 (北國銀行)	34 点	(9試合)
2 渡 久 山 慶 一 (豊田合成)	21 点	(12試合)	2 樋 口 真 央 (ソニー)	27 点	(9試合)
3 福 田 拓 馬 (トヨタ自動車)	19 点	(12試合)	3 伏 見 麻 美 子 (バイオレットアイリス)	23 点	(9試合)
4 藤 山 岳 士 (トヨタ紡織九州)	18 点	(11試合)	4 吉 田 祥 子 (オムロン)	19 点	(7試合)
5 柳 本 義 文 (Honda)	17 点	(12試合)	5 植 垣 曜 恵 (メイプルレッズ)	13 点	(9試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のG Kが対象)

1 東 佑 三 (大崎電気)	10本 / 22射	0.455	1 田 代 ひ ろ み (北國銀行)	9本 / 18射	0.500
2 高 木 尚 (大同特殊鋼)	8本 / 19射	0.421	2 毛 利 久 美 (バイオレットアイリス)	5本 / 17射	0.294
3 兼 浦 裕 也 (Honda)	7本 / 18射	0.389	3 近 藤 澄 江 (H C 名古屋)	8本 / 31射	0.258
4 田 平 龍 太 郎 (トヨタ車体)	14本 / 40射	0.350	4 藤 間 か おり (オムロン)	6本 / 25射	0.240
5 石 原 秀 久 (大崎電気)	6本 / 18射	0.333	5 中 島 亜 樹 (ソニー)	3本 / 13射	0.231

第33回日本ハンドボールリーグ成績表

第11週終了 11月23日

順位	男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	Honda	北陸電力	琉球コラソン	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		30 21	27 23	32 34 20 30	38 27 18 33	27	41 29 25 15	37 19	40 20	39 23	12	11	0	1	22	401	270	131
2	大崎電気	21 30		27 31 27 22	30 32	33 28	35 33	33 21	49 38 22 26	33 21	43 45 23 26	12	9	1	2	19	418	311	107
3	湧永製薬	23 27	27 22 27 31		29 28	28 26	28 21	32 33 18 16	35 25	39 36 20 26	27 17	12	9	1	2	19	359	282	77
4	トヨタ車体	20 30 32 34	32 30	28 29		25 25	36 33 27 29	30 19	32 21	43 28	37 42 21 19	12	8	1	3	17	388	314	74
5	トヨタ紡織九州	18 33 38 27	28 33	26 28	25 25		28 30 25 25	38 32	35 38 19 26	38 19	37 22	12	8	1	3	17	374	319	55
6	Honda	23 27	33 35	21 28	27 29 36 33	25 25 28 30		29 27	36 26	27 28 28 18	29 23	12	4	0	8	8	332	339	-7
7	北陸電力	25 15 41 29	21 33	18 16 32 33	19 30	32 38	27 29		34 32	29 24 27 23	23 22	12	4	0	8	8	283	369	-86
8	琉球コラソン	19 37	22 26 49 38	25 35	21 32	19 26 35 38	26 36	32 34		35 34	32 42 35 29	12	2	0	10	4	325	432	-107
9	豊田合成	20 40	21 33	20 26 39 36	28 43	19 38	28 18 27 28	27 23 29 24	34 35		31 19	12	2	0	10	4	295	391	-96
10	トヨタ自動車	23 39	23 26 43 45	17 27	21 19 37 42	22 37	23 29	22 23	35 29 32 42	19 31		12	1	0	11	2	279	427	-148

順位	女子	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	北國銀行	広島メイフルレッスン	三重バイオレットアイリス	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		30 29 27 31	22 25 22 23	31 34 22 21	33 18	36 36 12 14	9	7	1	1	15	276	190	86
2	ソニーセミコンダクタ九州	27 31 30 29		21 25 23 22	34 21	26 33 21 22	34 36 17 17	9	7	0	2	14	267	202	65
3	北國銀行	22 23 22 25	23 22 21 25		29 28 21 14	28 30 18 21	38 14	9	6	1	2	13	243	181	62
4	広島メイフルレッスン	22 21 31 34		21 14		22 16 16 19	37 26 22 19	9	3	0	6	6	200	232	-32
5	三重バイオレットアイリス	18 33	21 22 26 33	18 21 28 30	16 19 22 16		26 26 19 21	9	3	0	6	6	187	228	-41
6	H C 名古屋	12 14 36 36	17 17 34 36	14 38	22 19 37 26	19 21 26 26		9	0	0	9	0	155	295	-140

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。